

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」高鍋町の結果について

本調査は、小学校第5学年及び中学校第2学年を対象とした実技に関する調査と児童生徒質問紙調査です。

今回の調査によって測定できることは、学校における教育活動の一部ではありますが、結果を今後の指導に生かしていくことが大切であると考えております。

町教育委員会といたしましては、この結果を分析し、町内小・中学校と情報共有しながら、子どもたちが、更に体力を向上させ、望ましい運動習慣、生活習慣を身に付けて、楽しく元気に学校生活を送ることができるよう支援してまいりたいと考えております。

特に、令和6年度と令和7年度の結果を比較すると、御家庭において「テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンの画面を2時間以上見ている児童生徒の割合」が増加傾向にあります。御家庭において、メディア時間についてお子さんとお話をされたり、屋外に出て運動を楽しみながら、お子さんと過ごす機会を作られたりするきっかけにいただけると幸いです。

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の概要について

○ 実施日

令和7年4月～6月

○ 対象及び分析方法

町内の小学校第5学年151名から101名、中学校第2学年183名から119名の調査結果をそれぞれ抽出し、調査項目ごとに分析しています。

○ 目的

- ・ 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・ 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・ 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

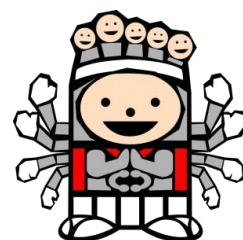
○ 内容

ア 実技に関する調査【テスト8種目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、
ボール投げ(小学校はソフトボール 中学校はハンドボール)

*中学校は、持久走(男子 1500m、女子 1000m)又は 20m シャトルラン

イ 質問紙調査(運動習慣、生活習慣等)



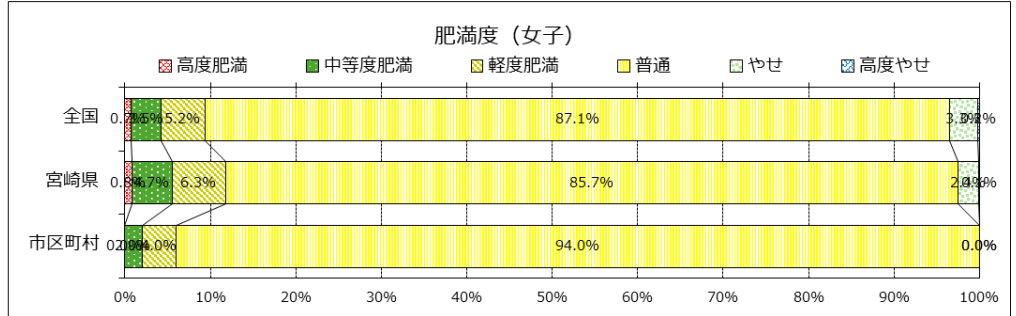
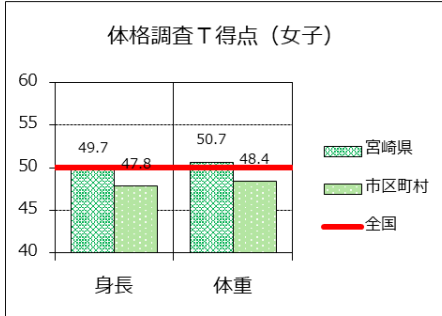
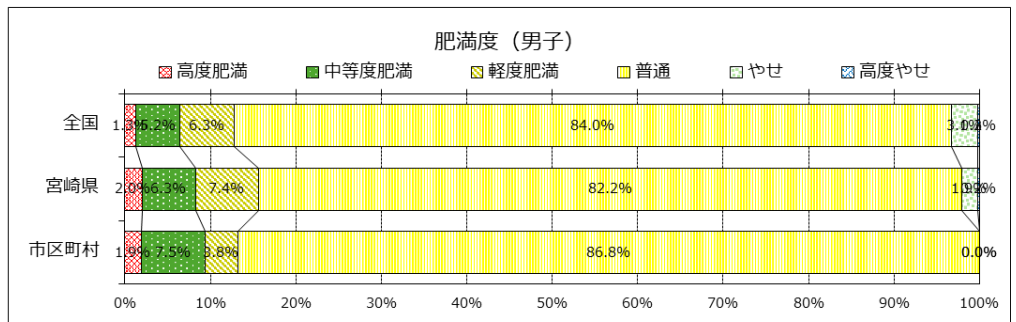
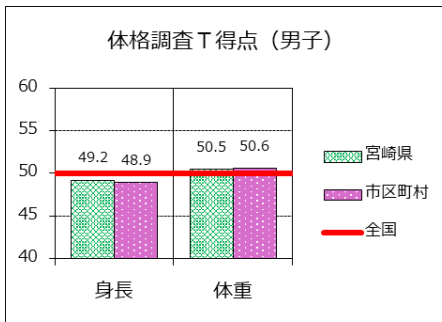
■ 体力テストの項目と測定方法等

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
① 握力	kg	筋力	左右握力の平均値
② 上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③ 長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④ 反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤ 20mシャトルラン(小) 持久走(中)	回 分・秒	全身持久力 長距離走能力	20m 走行の折り返し回数 男子 1500m、女子 1000m の走行時間
⑥ 50m走	秒	疾走能力	50m の疾走時間
⑦ 立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧ ボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフト(ハンド)ボールを遠投した距離
体力合計点	点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価	5 段階	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からA B C D Eの5段階で評定した体力の総合評価	

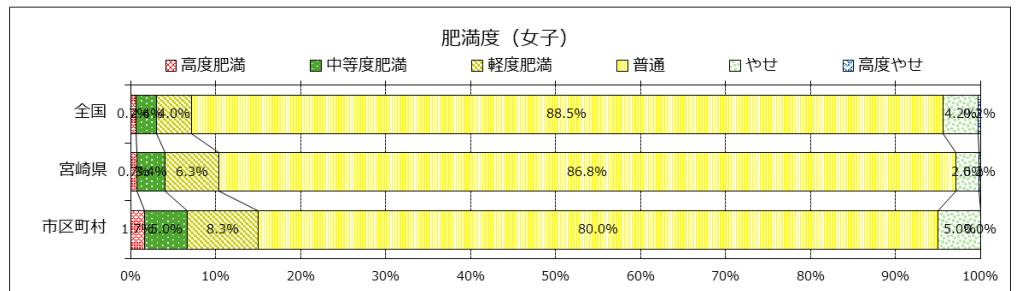
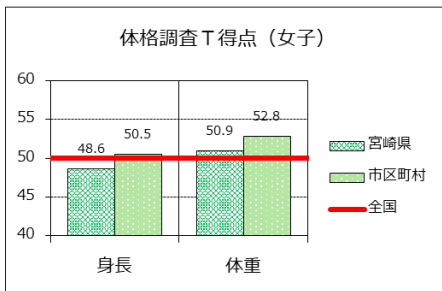
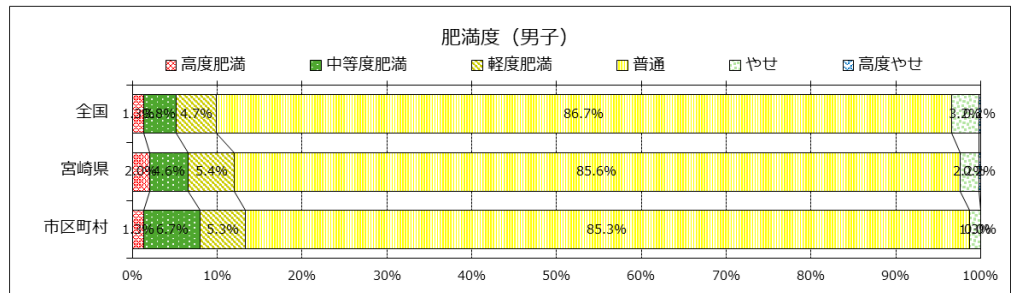
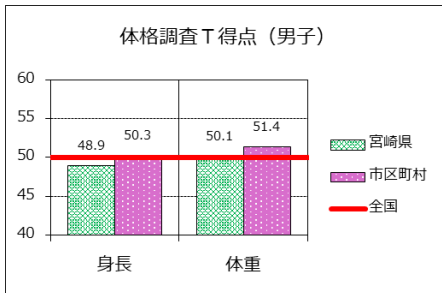


■ 体格集計

(1) 小学校



(2) 中学校



T得点：全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する平均50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

【小学校】

男子は、全国に比べ肥満傾向児童の出現率はやや高い状況にあり、痩身傾向の出現率は0%と良好な状況にあります。

女子は、全国に比べ肥満傾向児童の出現率はやや低い状況にあり、痩身傾向の出現率は0%と良好の状況にあります。

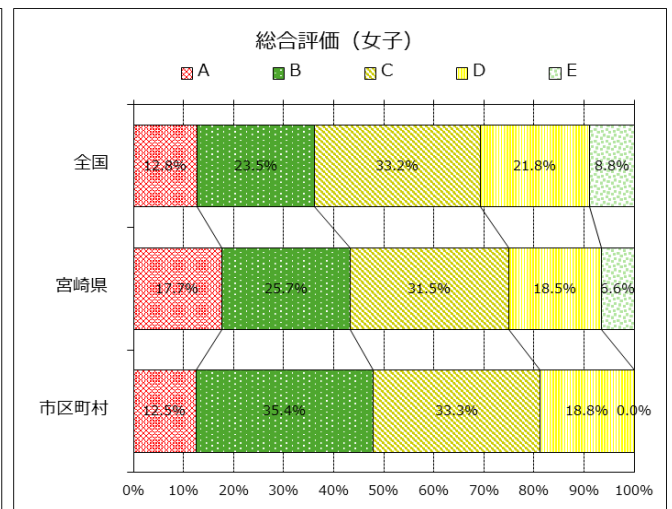
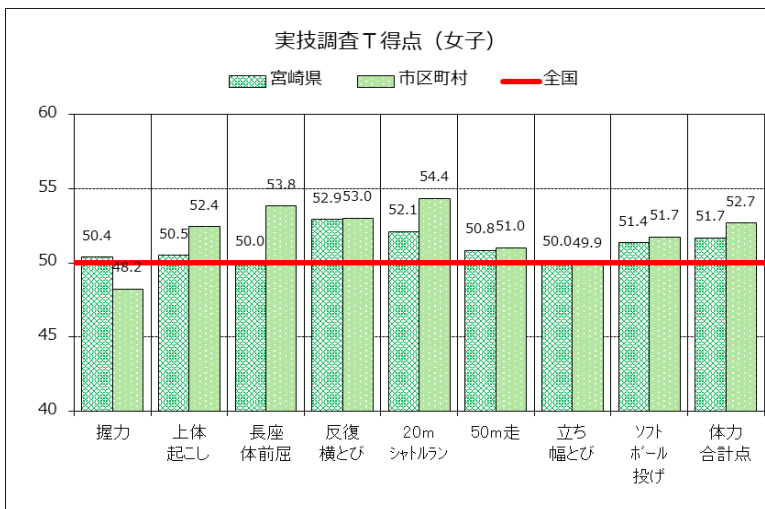
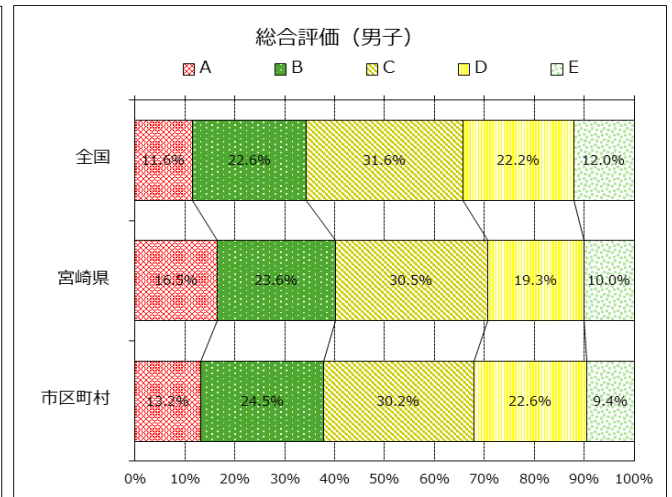
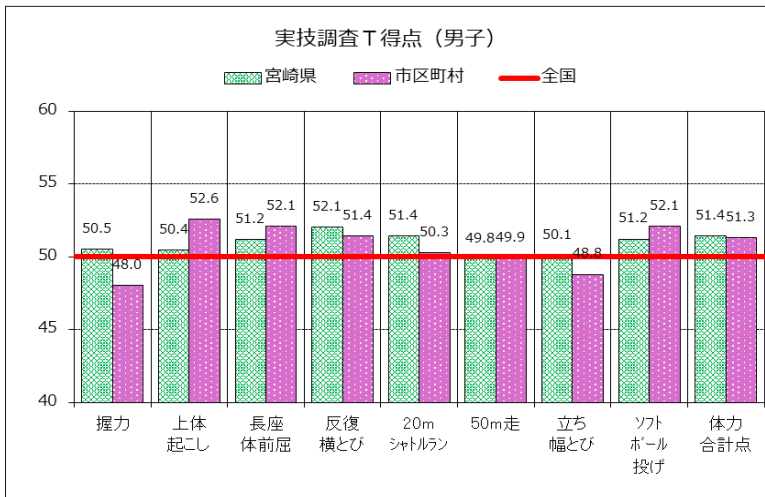
【中学生】

男子は、全国に比べ肥満傾向児童の出現率はやや高い状況にあり、痩身傾向の出現率はやや低く、良好な状況にあります。

女子は、全国に比べ肥満傾向生徒の出現率は高い傾向にあり、痩身傾向生徒の出現率は、ほぼ同程度の状況にあります。

■ 実技集計

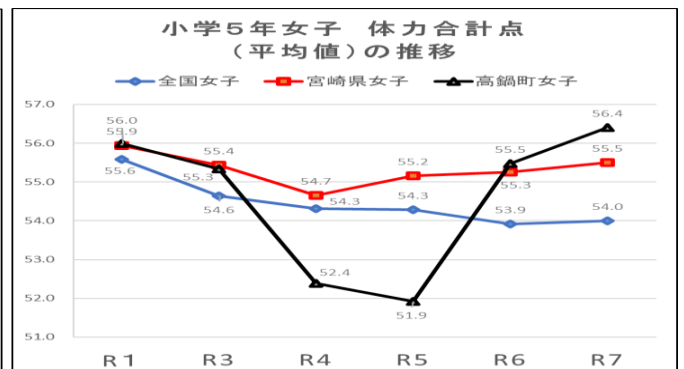
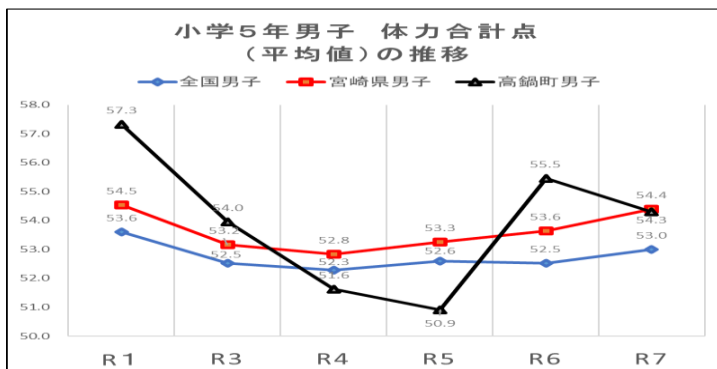
(1) 小学校



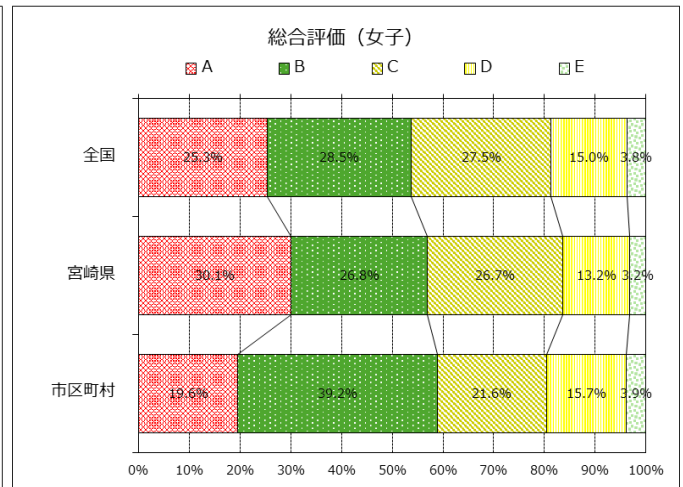
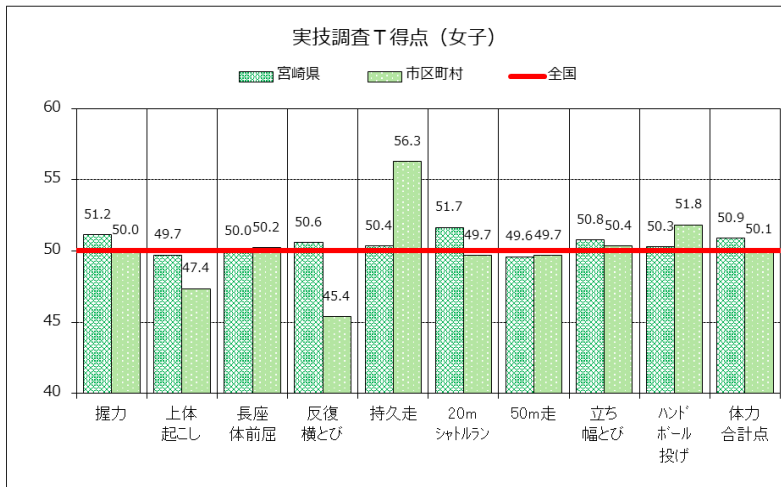
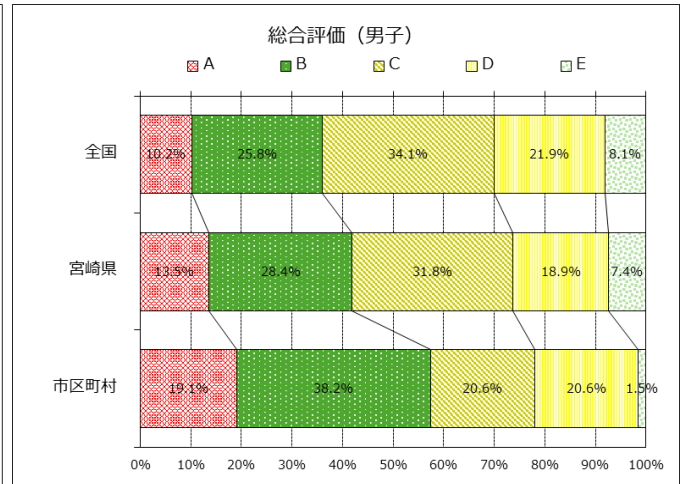
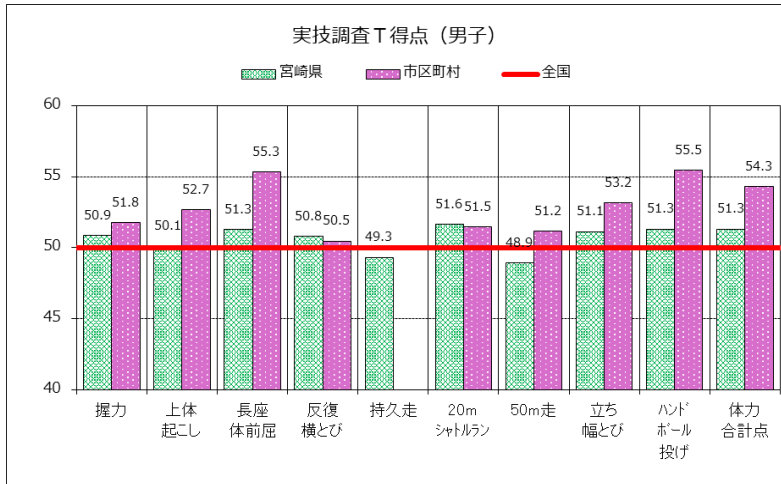
【男子】 8種目中4種目が全国平均値を上回っており、2種目（20mシャトルラン、50m走）は同程度、2種目（握力、立ち幅跳び）は、やや下回っています。総合評価A、B群の割合はいずれも全国より上回っており、E群の割合が低いことから、運動が得意な児童が多く、苦手とする児童が少ない傾向にあると言えます。

【女子】 8種目中6種目が全国の平均値を上回っており、立ち幅跳びは同程度、握力はやや下回っています。総合評価A群はほぼ同程度ですが、B群の割合が全国に比べ12.0%程度上回っており、E群の割合が0%であることから、運動が得意な児童が多く、苦手とする児童が少ない傾向にあると言えます。

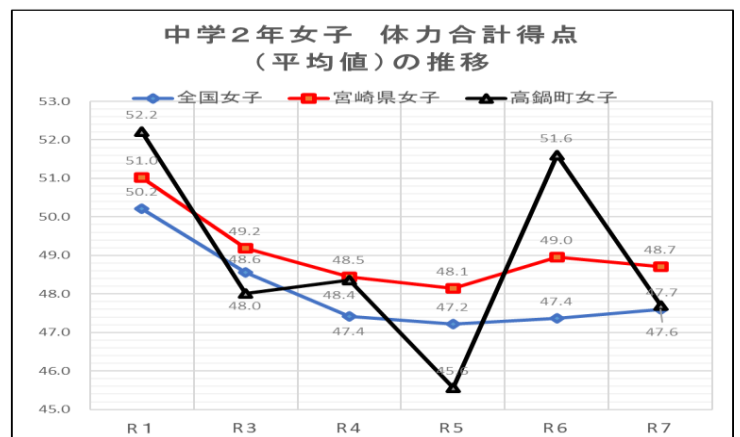
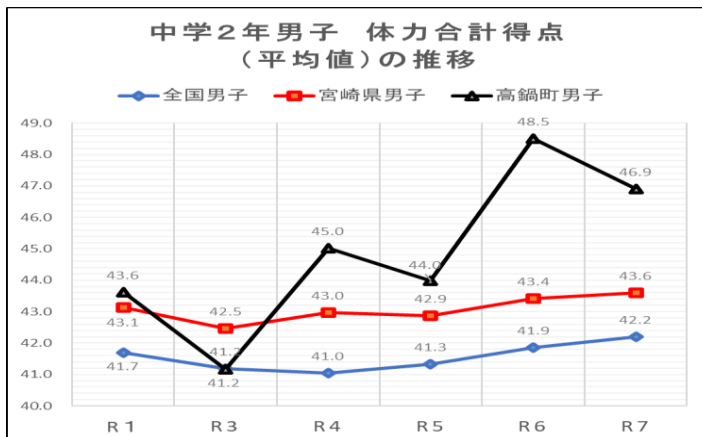
【男女】 コロナ禍（令和元年後半）から、本町児童の体力（下図：体力の推移）は、著しく低下した状況にありましたが、令和5年以降、女子児童の体力は向上を続けています。男子児童については、令和6年度の結果を下回りはするものの、全国平均を上回っている状況にあります。



(2) 中学校



- 【男子】 8種目中7種目（特に、「長座体前屈」「ハンドボール投げ」）が全国の平均値を上回っており、反復横跳びにおいては同程度です。総合評価A B群の割合が全国及び県を大きく上回っている状況にあり、C D E群の割合が低いことから、運動が得意な生徒が多く、苦手とする生徒が少ない傾向にあると言えます。
- 【女子】 8種目中2種目（特に「持久走」）が全国の平均値を上回っており、6種目は同程度、上体起こしと反復横跳びは下回っています。総合評価Aの割合が全国及び県を下回っていますが、B群の割合が大きく上回っていることから、運動が得意な生徒がやや多い傾向にあると言えます。
- 【男女】 令和6年度の体力の状況を下回っている状況にありますが、男子は、依然として全国、県の体力を上回っており、女子も全国と同程度の状況にあります。



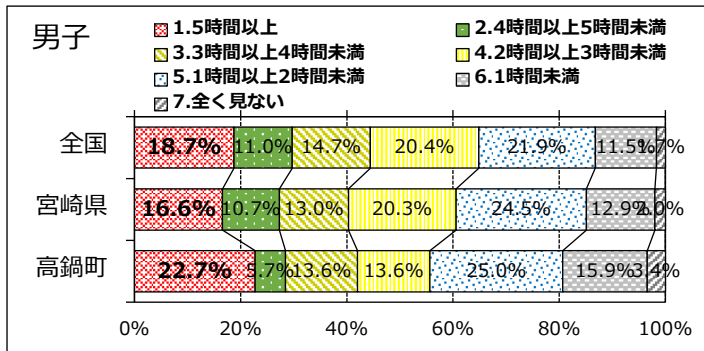
■ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等） ※令和6年度の結果との差が見られる項目

(1) 小学校

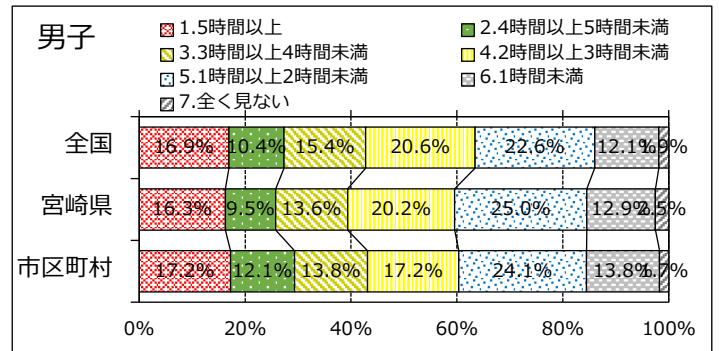
【男子】

○ 平日に学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンの画面を見ますか。

<令和6年度>

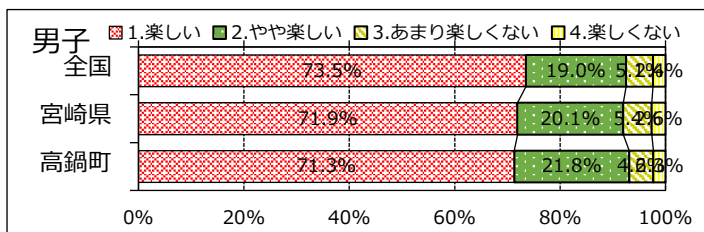


<令和7年度>

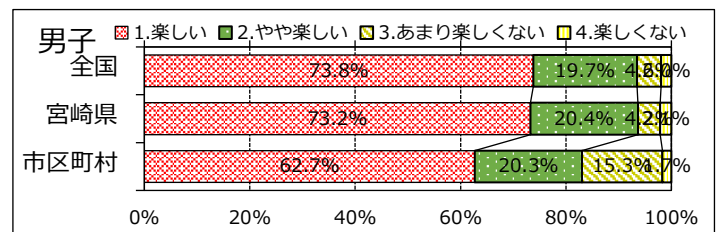


○ 体育の授業で、記録に挑戦したり、記録が上がったり、競い合ったりすることは楽しいと感じますか。

<令和6年度>



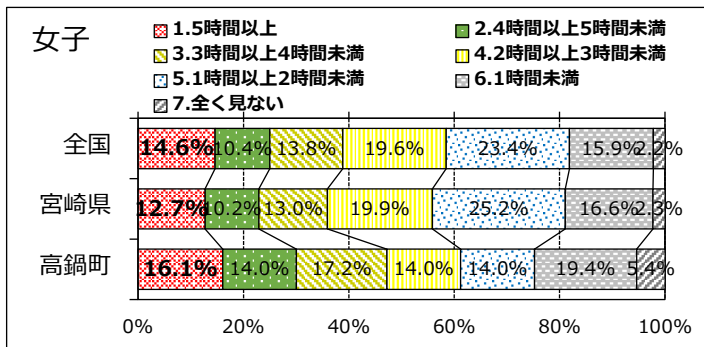
<令和7年度>



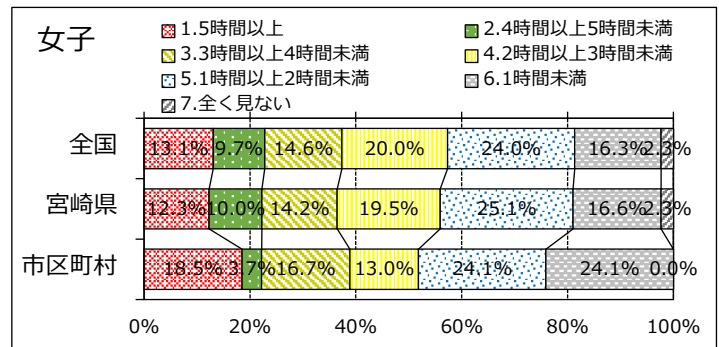
【女子】

○ 平日に学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンの画面を見ますか。

<令和6年度>

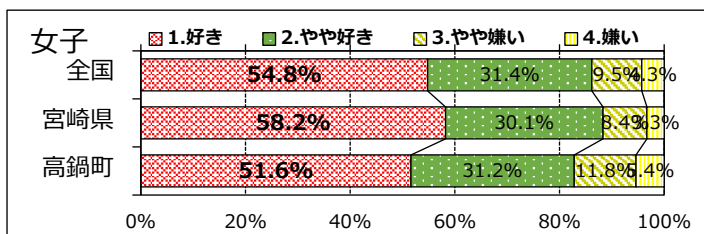


<令和7年度>

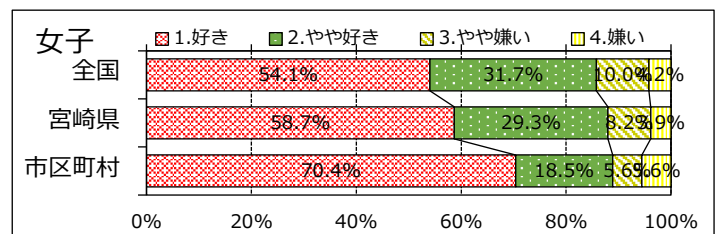


○ 運動（体を動かす遊びを含む。）やスポーツをすることは好きですか。

<令和6年度>

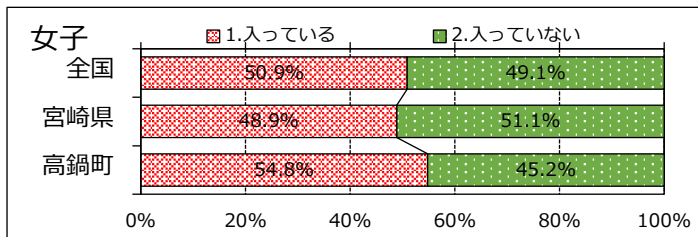


<令和7年度>

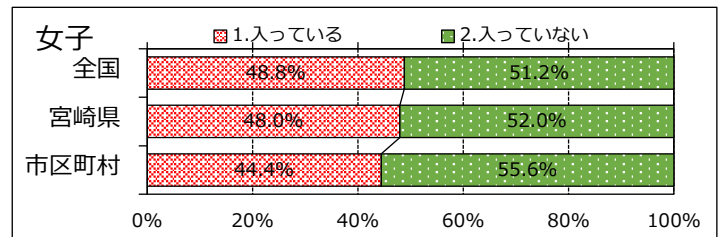


○ 地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事を含む。）に入っていますか。

<令和6年度>

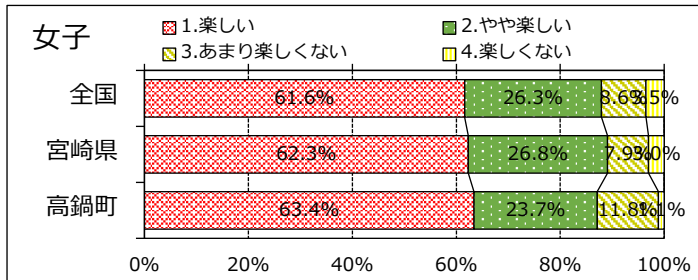


<令和7年度>

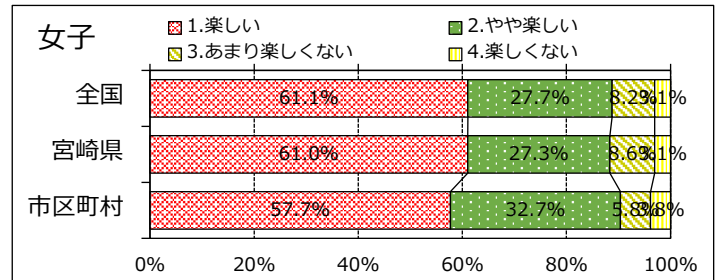


○ 体育の授業で、記録に挑戦したり、記録が上がったり、競い合ったりすることは楽しいと感じますか。

<令和6年度>

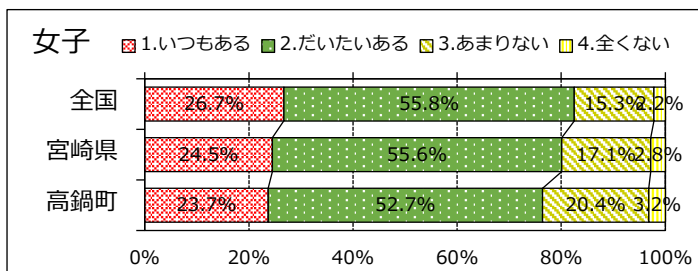


<令和7年度>

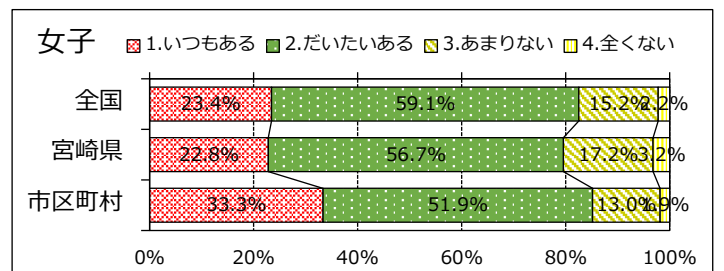


○ 体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

<令和6年度>



<令和7年度>



【男子】

令和6年度の結果とおおよそ同等の結果でしたが、「平日に学習以外で、1日に2時間以上、テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンの画面を見る児童の割合」が、4.7%増加しており、「体育の授業で、記録に挑戦したり、記録が上がったり、競い合ったりすることは楽しいと感じている児童の割合」が、10.2%低下しています。

【女子】

「平日に学習以外で、1日に2時間以上、テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンの画面を見る児童の割合」が、9.4%減少しており、「運動やスポーツが好きな児童の割合」が6.1%、「体育の授業で、記録に挑戦したり、記録が上がったり、競い合ったりすることは楽しいと感じている児童の割合」が3.5%向上していました。特に、「目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することが実感できた児童の割合」が8.8%と大きく向上しています。

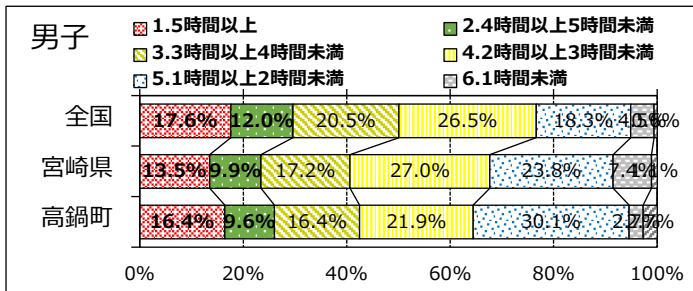
また、「地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事を含む。）に入っているか」については、10.4%低下しています。

(2) 中学校

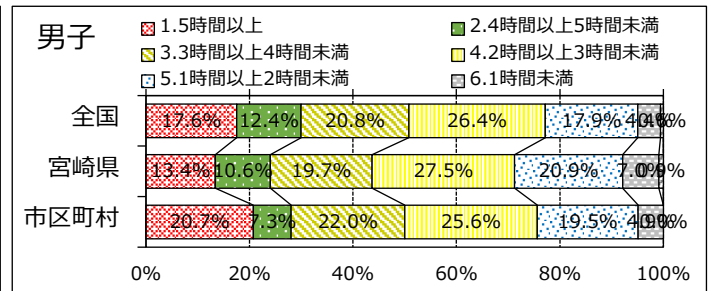
【男子】

○ 平日に学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンの画面を見ますか。

<令和6年度>



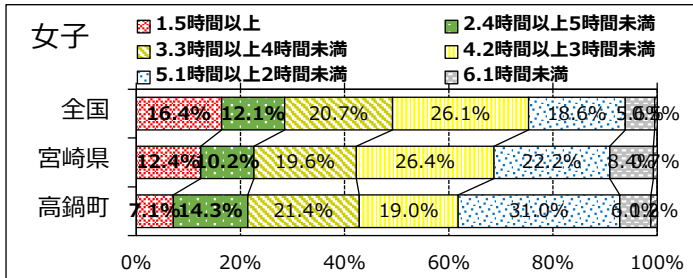
<令和7年度>



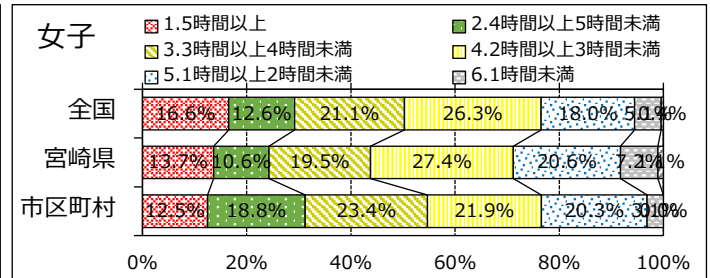
【女子】

○ 平日に学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンの画面を見ますか。

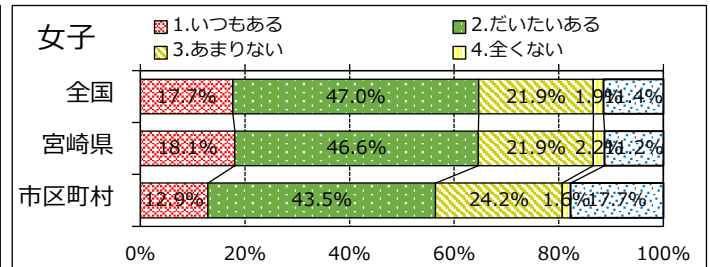
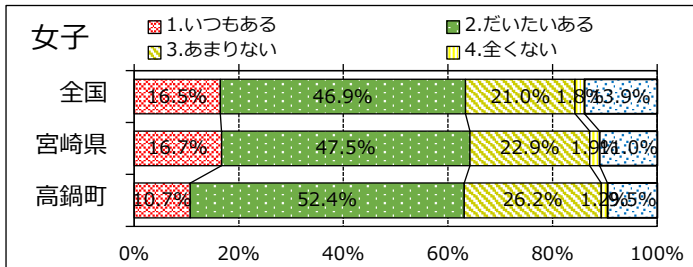
<令和6年度>



<令和7年度>



○ 保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで「できたり、わかったり」するか。



【男子】

令和6年度の結果とおおよそ同等の結果でしたが、「平日に学習以外で、1日に2時間以上、テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンの画面を見ている生徒の割合」が、11.3%増加しています。

【女子】

「平日に学習以外で、1日に2時間以上、テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンの画面を見ている生徒の割合」が、14.8%増加しており、「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで「できる。わかる。」と感じた生徒の割合」は6.7%低下しています。